

たかしの学報

キャンパスの交差点

73

BULLETIN of TAKASAKI CITY UNIVERSITY of ECONOMICS



もくじ

グラビア 「高経大グラフィティ」

・巻頭言 経済学部長 石川弘道

学生生活

- ・平成17年度入学式
- ・高崎経済大学に入学して 大高正輝
- ・新入生歓迎会を終えて 三扇祭実行委員長 原田圭介
- ・新任教員紹介 小川雅敏・中路 敬
池田幸典・内藤まゆみ
- ・S I F E J A P A N国内大会で優勝して 渡邊大輔
- ・第32回鶴鷹祭試合結果報告
- ・地方別就職状況
- ・業種別就職状況

シリーズ

- ・卒業生訪問 時吉 等（昭和49年3月卒）
田村彬仁（平成17年3月卒）
- ・クラブ紹介 ボート部・マンドリンクラブ
- ・ふるさとを語る 国内編：濱島啓輔（愛知県）
国外編：趙 莉（中国・瀋陽）
- ・姉妹校留学 L T U短期留学に参加して
- ・高崎今昔物語 ～其の式～ 開学!!高崎経済大学
- ・Buon Appetito エスト・カジュアルレストランじゃがいも

大学から

- ・人事関係記事 教員・事務局
- ・同窓会事務局から
- ・平成16年度公開講座
- ・平成17年度入試実施状況
- ・大学広報
- ・学報アンケート

高経グラ



平成16年度学位記授与式
(於：音楽センター)



リーダーズキャンプ
(文化サークル協議会)



ファイティーン



平成17年度入学式
(於：音楽センター)



新入生歓迎会
(主催：三扇祭実行委員会)

高経グラ



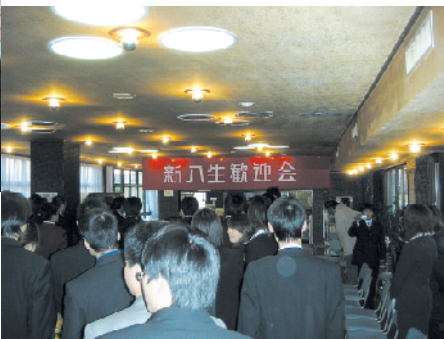
フレッシュマンキャンプ
(主催：体育会)



フレッシュマンキャンプ
(主催：文化サークル協議会)



留学生新入生歓迎会
(主催：留学生交流会)



ファイティ2



開学記念式典
(主催：応援団)



第32回鶴鷹祭
(於：都留文科大学)





経済学部の長期的な展望と在学生へのメッセージ

経済学部長 石川 弘 道

人は将来を展望する時、過去を振り返る。経済学部の歴史を遡ると1957年の経済学部経済学科の開設に辿り着く。その後、64年に経営学科を併設し、2002年に学部を基礎とする大学院経済・経営研究科を設置し、2007年には50周年を迎える。その間、新しく地域政策学部と大学院地域政策研究科も開設された。

2007年は「日本の総人口の減少」、「団塊世代の定年退職」そして「大学全入時代」が始まるという転換の年でもある。そこで、経済学部では中期計画委員会を設置し、50周年以降の経済学部のあるべき姿を検討している。

まず現状分析であるが、大学は入口・出口と中味で評価される。その中で現在、最も注目されているのは入口の評価尺度である偏差値である。合格率50%の値はかなり高い水準にあるが、合格者全体のバラツキは一考を要す。出口については進学を含む就職率が評価尺度となっている。公表されている数値は毎年高水準である。しかし、時代を反映しているとはいえ、そこに含まれない就職希望なしの卒業生への対応は大きな課題である。中味は教育力に集約されるが、定量化はされていない。主観的ではあるが、教育力も一定の水準を超えていると判断している。しかし、詳細に検討すれば早急に改善すべき事項が多々存在する。

中・長期展望に際しては現状分析に加え、社会の変容を注視し、先取り又は即応すべき領域と時代の変化とは独立した不変の領域とがあり、大学及び学部の理念の下、新しい時代を切り拓くという使命感を持った枠組み作りが求められる。

経済学部では50年の歴史と伝統を基盤としつつ、受験生にとって魅力ある経済学部、学生の学ぶ意欲の創出とそれに応える教育を展開する経済学部、社会的に評価される卒業生を送り出す経済学部の確立を基本軸とし、少人数教育のさらなる推進と基礎教育・応用教育等カリキュラムの充実を引き続き推し進めていくことを確認している。

最後に、学生諸君へ一言。諸君はライフ・デザインをベースに今を生きているであろうか。現在は過去と未来の連結点である。「明日は明日の風が吹く」、それで良いではないかと言う学生がいるかも知れない。しかし、後年振り返った時、悔いのない学生生活を過ごしたと言える毎日であって欲しい。そんな学生生活を創造し、支援し続けるために、経済学部は革新を継続して行きたい。

平成 17 年度入学式

平成 17 年 4 月 9 日 於：群馬音楽センター

平成 17 年度の入学式が、4 月 9 日（土）高崎市役所庁舎近くの群馬音楽センターで挙行されました。

式典においては、石井学長の入学告示や高崎市長をはじめとする来賓の方々より祝辞をいただき、盛大に執り行なわれました。



平成 17 年度入学状況（学部）

【入学者数】

（ ）内は女子で内数

試験区分	経済学部 (定員：480人) 一般400人・推薦80人	地域政策学部定員:335人 一般230人・推薦45人 編転入35人 私費外国人留学生25人	合計 (定員：815人)
一般(推薦含む)	540(112)	305(101)	845(213)
私費外国人留学生	14(6)	29(9)	43(15)
社会人	0(0)	2(1)	2(1)
2年次編入・転入	1(0)	9(7)	10(7)
2年次編入・転入	0(0)	19(12)	19(12)
計	555(118)	364(130)	919(248)

(1)高崎市内及び群馬県内入学者の内訳 (社会人、転入・転入生含む)

市内者・県内者別	経済学部	地域政策学部	合計
高崎市内者	36 (14)	21 (13)	57 (27)
高崎市内を除く県内者	105 (35)	101 (49)	206 (84)
計	141 (49)	122 (62)	263(111)

(2)私費外国人留学生の国別入学者の内訳

国別	経済学部	地域政策学部	合計
中国	13 (5)	29 (9)	42 (14)
韓国	1 (1)	0 (0)	1 (1)
計	14 (6)	29 (9)	43 (15)

平成 17 年度入学状況 (大学院)

【入学者数】

()内は女子で内数

入試区分	経済・経営研究科		地域政策研究科		合計 (定員:49人)
	博士前期 (定員:20人) 一般10人 社会人10人	博士後期 (定員:4人)	博士前期 (定員:20人) 一般7人・社会人10人 私費外国人留学生3人	博士後期 (定員:5人)	
一般	6 (2)	0 (0)	8 (1)	2 (0)	16 (3)
社会人	4 (1)	0 (0)	6 (1)	1 (0)	11 (2)
私費外国人留学生	10 (3)	1 (0)	8 (3)	1 (1)	20 (7)
計	20 (6)	1 (0)	22 (5)	4 (1)	47 (12)

(1)高崎市内及び群馬県内入学者の内訳

市内者・県内者別	経済・経営研究科		地域政策研究科		合計
	博士前期	博士後期	博士前期	博士後期	
高崎市内者	14 (4)	1 (0)	11 (3)	3 (1)	29 (8)
高崎市内を除く県内者	5 (2)	0 (0)	10 (2)	0 (0)	15 (4)
計	19 (6)	1 (0)	21 (5)	3 (1)	44 (12)

市内在住の留学生は市内者に含む。

(2)私費外国人留学生の国別入学者の内訳

国別	経済・経営研究科		地域政策研究科		合計
	博士前期	博士後期	博士前期	博士後期	
中国	9 (3)	1 (0)	8 (3)	1 (1)	19 (7)
マレーシア	1 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (0)
計	10 (3)	1 (0)	8 (3)	1 (1)	20 (7)



高崎経済大学に入学して

経済学部1年 大高正輝さん

高崎経済大学を自分の目で初めて見たのは、3月下旬のことでした。そのとき、真っ先に目に映った付属図書館はとても印象的でした。存在感があり、風格漂う建物に驚くとともに、この大学での学生生活が始まろうとしていることを嬉しく思いました。4月になり待望の大学生になりましたが、高校までのものとは明らかに異なる大学のシステムに戸惑いました。今までなじみのないシラバス、単位、履修制度やセメスター制度などの大学ならではの用語を把握するのに時間を要しました。そして、それらを理解するにつれて大学では個人の自由が認められ、自己の責任が伴うことを実感しました。

一人暮らしを始めるのにあたり、慣れない炊事や洗濯などの家事をすることになり、様々な失敗をしてしまいました。ときに自虐的になることもありましたが、同じ失敗を繰り返さないように注意を払いました。その後、次第に家事に慣れて失敗が少なくなりました。また、大学での専門性の高い90分にわたる講義にも、回数を重ねるにつれて少しずつ慣れることができました。このように、入学直後に抱いていた不安が時間の経過にともない、解消されて安心しています。

自分の意思で数多く存在する大学の中から高崎経済大学を選び、出願しました。誰かからお願いされことではありません。大学での講義に関しても、自分の意思で履修登録をしました。先生からお願いされたことではありません。これらのことを念頭において、高校までの受身的な勉強をやめ、大学では能動的に研究に励みたいと思っています。そして、入学式で読ませていただいた宣誓文の通り、先生方のご指導のもとに真理を探究し、人格形成に努めたいです。さらに、体調管理に気をつけながら、毎日の積み重ねを大切に、高崎経済大学の学生としての生活を満喫したいと思っています。



新入生歓迎会を終えて

三扇祭実行委員会委員長

地域政策学部3年 原田 圭 介さん

私共三扇祭実行委員会では、毎年各方面の皆様からの多大なるご支援のもと、新入生歓迎企画を行っております。今年度は新入生がいち早く大学に慣れてもらうことを新入生歓迎企画として、4つの企画を行いました。

まず、1つ目として新入生全員を対象にガイダンスブックを作成し、入学式で配布しました。このガイダンスブックには、新入生がいち早く大学に慣れ親しんでもらうための情報を多く取り上げました。新生活にあたっての情報ははじめ、講義や部活・サークルの紹介に至るまでを完全に網羅した1冊に仕上げました。新入生にとっては、学生生活のイメージが湧いてきたのではないかと思います。

2つ目として、4月12日に部活・サークル説明会を開催しました。これは、部活・サークルが各々ブースを設け、新入生に活動を紹介する場として企画しました。当日は、雨が降ってしまいあいにくの空模様でしたが、今年は75団体の皆さんが参加しました。雨にも関わらず、各団体の先輩たちが積極的に新入生に声をかけており、新入生にとっても部活・サークルを知る良いきっかけになったのではないかと思います。

4月21日には、新入生歓迎会を行いました。この日は、当日の講義を全て休講にして頂いての全学挙げての行事です。新入生に学生証の交付を終えた後、新入生歓迎記念講演会を行いました。今年は、芸能リポーターでご活躍中の梨元勝氏をお迎えし、「今の大学生に求められること」をテーマに60分間の講演を行って頂きました。講演会では、学生との意見交換の場も設けられ、新入生にとっては貴重な体験が出来たのではないかと思います。講演会終了後には、立食パーティーを行いました。今年の立食パーティーでは、新入生同士の交流をより深いものにするため、レクリエーションを重視し、カラオケ設備を新しく導入しました。全員とまではいきませんでしたが、多くの新入生に利用してもらい、大盛況のうちに終了することができました。

最後に、5月14日に新入生歓迎ソフトバレーボール大会を行いました。昨年は、毎朝始業前に行っていたものを、今年は1日での開催に変更しました。休日にも関わらず、多くの学生に参加を頂き、白熱した試合が数多く見られました。応援も活発に行われ、新入生同士だけではなく、在校生たちとの交流もスポーツを通じて活発に行われました。

今年の新入生歓迎企画を行うにあたり、大学側から温かいご協力を頂きました。また同時に体育会、応援団、文化サークル協議会、ゼミナール協議会、留学生交流会の皆様にも多大なるご協力を頂きました。この場を借りて皆様にお礼申し上げます。また、今後とも実行委員会の活動にご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

新任教員紹介



経済学部教授
小川雅敏

経歴:1965年横浜国立大学経済学部卒業。同年経済企画庁(現内閣府)入庁。93年退官までの間に大蔵省(主計局、東海財務局)、在米日本国大使館に勤務。また、米国ジョンス・ホプキンス大学高等国際問題研究所に留学(修士課程卒業)。その後、北海道東北開発公庫(現日本政策投資銀行)、三井海上(現三井住友海上)基礎研究所を経て、2004年10月より現職。

担当科目:(大学)マクロ経済統計Ⅰ・Ⅱ、日本経済事情Ⅰ・Ⅱ、戦後世界経済論Ⅰ・Ⅱ、外書講読Ⅰ・Ⅱ。

(大学院)マクロ経済特論、マクロ経済演習。

抱負など:私が大学で学んでよかったと思う最大のことは、卒業した後何をしたらよいかを私なりに見つけることができたこと。また、大学院で学んでよかったと思うことは、世界は広いということを私なりに知ったことなど。学ぶことが、知識や技能の増進だけでなく、人生観や世界観の形成を通じて、豊かな個の確立につながるならば、素晴らしいことではないでしょうか。学ぶということは、他から教えてもらうということと、自ら探求するということでしょう。探求のお手伝いができればと思っています。



経済学部助教授
中路 敬

平成17年4月から高崎経済大学に着任いたしました中路敬(なかじけい)と申します。専門はアメリカ近代経済学史ですが、現代経済学一般や金融論、歴史や哲学などにも広く関心を持っています。趣味は、水泳、管楽器(ホルンとトランペット)、カクテル作り、観葉植物の栽培などです。

大阪に生まれ、広島大学を卒業し、九州大学大学院博士課程を修了していますので、つつい西日本のノリでしゃべってしまうことが多いのですが、なるべく「標準語」を使うように気をつけています。

教育方針としては、講義をする教員が楽しくないと受講生も楽しくないはずだと考えますので、なるべく自分自身が楽しんで講義をするよう心がけています。すこしでも、経済学の面白さや奥深さ(浅薄さ?)を実感していただけるよう工夫していきたいと思っています。ほぼ毎日大学に来ていますので、いつでも遠慮なく研究室に訪ねてきてくださいますと、うれしく思います。



経済学部講師
池田幸典

京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了(博士)。専門は財務会計で、とくに負債および資本の会計など、会計利益の計算構造に関する研究を行っています。会計利益の計算構造に関する研究は理論的な側面が強いですが、会計実務を無視した会計理論は机上の空論に過ぎません。研究に当たっては実務と理論の両者のバランスを保たなければならないと思っています。担当科目は財務諸表論(連結財務諸表論・国際会計基準)などですが、単なる会計技法の紹介・概説に終始するのではなく、その背後にある論理にも目を向けたいと考えています。会計の講義・演習などを通じて、自分で考えることの重要性や、通説や一般論に「なぜ」と疑問を持つことの重要性を伝えることができると考えています。そして自発的かつ柔軟に考え、行動できる人材の育成を目指したいと思います。皆様方とともに学びながら、研究・教育の質の向上に努めていきたいと思っています。



経済学部講師
内藤まゆみ

経歴:1997年お茶の水女子大学大学卒業。2002年同大学大学院博士後期課程単位取得退学。同年より、日本学術振興会特別研究員(PD)として研究に従事。2005年4月より現職。
専門:教育心理学、教育工学、社会心理学。例えば、メディアの教育的利用について検討した研究では、学習の中で系統的にインターネットを使っている学校は、インターネットを使っていない学校よりも、生徒の情報活用の実践力が向上することがわかりました。今後は、普段の生活では、どのようにメディアと付き合うのが望ましいのかという、メディア・リテラシー研究も進めていきたいと考えています。
本学での抱負:心理学といえば、人の心がわかる、という印象を持たれがちですが、実際はそうではありません。しかし、身近な事柄を「科学」する心理学は、いままで気づかなかった視点から人間を理解するきっかけを与えてくれます。授業を通して、知らなかったことを知る喜びを、みなさんと共有していきたいと思っています。

SIFE JAPAN 国内大会で優勝して

●思い返してみると、高経 SIFE プロジェクトが本格始動したのは5月。本来は1年をかけてじっくり行っていくものであるが、7月の国内大会に向けて実質2ヵ月でまとめたことになる。この2ヶ月間は、色々な意味で非常に濃い日々であった。やるべきことは年間報告書の作成、プレゼン準備の大きく2点であるが、チーム編成も一から始めなくてはならず、すべて英語で表現しなければならないという大きな壁もあった。手探りから始め、大変な困難を乗り越えての優勝を、まずは素直に喜びたい。今回の優勝は、多くの方々のご支援と、大宮ゼミ (DNA)、佐々木ゼミが協働し、それぞれの地道な活動の積み重ねが評価された結果である。感謝を胸に、自分たちの活動に自信と誇りを抱いて、世界で私たちの思いを伝えてきたい。< 705-014 渡邊大輔 >

●優勝できたのは、DNA、佐々木ゼミの地道な活動とチームワークの良さであり、世界大会でも自信を持ってプレゼンを行いたい。< 903-003 坂本祐子 >

●今回の優勝は佐々木先生、大宮先生、DNA 等多くの方々のご支援により達成できたものであり、心新たに世界大会へ向けて頑張りたい。< 101-159 小酒井智香子 >

●SIFE は、他国の地域貢献活動を行っている学生との交流の場でもあり、様々な国の学生と交流をし、刺激を受け、我々の活動をより高めていきたい。< 102-247 篠崎康太 >

●佐々木先生をはじめ SIFE に携わって頂いた皆様、ありがとうございました。日本代表として世界大会でプレゼンすることができ、とても誇りに思う。< 103-062 岩田朋子 >

●SIFE に参加し、充実した2ヶ月を過ごすことができました。世界に向け、日本の素晴らしさ、高崎の素晴らしさ、そして我々の活動を精一杯伝えて来たい。< 103-065 岩本勇喜 >

●SIFE を通し、自分自身を成長させることが出来た。多くの方々のご支援があったからこそこの優勝である。国際大会でも良い結果が残せるよう頑張りたい。< 103-094 太田能邦 >

●優勝に導いた原動力である私たちの「伝えたい」という思いを大切にしたい。また、同世代の世界の学生がどんな取組をしているのかを見て来たい。< 103-124 小幡京子 >

●SIFE に参加し、他者と協力して一つのものを作り上げる喜びを得ることができた。世界大会に向けて、さらに英語に磨きをかけ本番に臨みたい。< 103-367 坪井真司 >



第 32 回 鶴鷹祭試合結果

平成 17 年 6 月 24・25 日 於：都留文科大学

今回で 32 回目を迎える都留文科大学・高崎経済大学総合体育対抗戦、「鶴鷹祭」が今年も開催された。4 連勝を目標に、今回は敵地に乗り込んでいったが、総合戦績 9 勝 12 敗で高崎経済大学の敗北に終わった。

種 目		都留文科大学	高崎経済大学	
男 子	空 手 道	○	5 - 0	●
女 子	空 手 道	●	1 - 2	○
	弓 道	○	1 1 4 - 8 5	●
男 子	剣 道	○	3 - 1	●
女 子	剣 道	○	3 - 0	●
男 子	硬 式 庭 球	●	1 - 2	○
女 子	硬 式 庭 球	●	0 - 7	○
	サ ッ カ ー	●	0 - 2	○
	準 硬 式 野 球 部	●	1 - 5	○
男 子	ソ フ ト テ ニ ス	●	2 - 3	○
女 子	ソ フ ト テ ニ ス	○	3 - 0	●
	ソ フ ト ボ ー ル	●	1 - 1 3	○
	卓 球	○	3 - 1	●
男 子	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	○	8 7 - 7 8	●
女 子	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	○	8 3 - 7 5	●
男 子	バ ド ミ ン ト ン	○	4 - 1	●
女 子	バ ド ミ ン ト ン	●	1 - 4	○
男 子	バ レ ー ボ ー ル	○	3 - 2	●
女 子	バ レ ー ボ ー ル	○	2 - 0	●
	ラ グ ビ ー	●	1 8 - 2 5	○
	陸 上	○	4 2 - 2 3	●



準硬式野球部



空手道部女子

平成16年度就職状況

経済学部

項目	男	女	計	備考	業種	男	女	計	備考
卒業予定者 A	415	158	573		農 林 漁 業	1	0	1	0.3%
留 年 者 B	52	11	63		鉱 業	0	0	0	0.0%
卒 業 者 C	363	147	510	(A - B)	建 設	12	3	15	4.1%
就職希望者 D	257	108	365		食 品 製 造	6	2	8	
就職以外の 進路決定者 E	69	26	95	内大学院進学者 21人	織 維 工 業	0	0	0	
そ の 他 F	37	13	50		織 維 製 品	0	0	0	
就 職 者 G	256	107	363	99.5% (G / D)	出 版 印 刷	4	2	6	
大 企 業	155	61	216	59.5% 従業員>= 500	化 学 製 品	4	1	5	
中 企 業	56	23	79	21.7% 従業員>= 100	石 油 製 品	2	0	2	
小 企 業	30	20	50	13.8% 従業員<= 100	鉄 鋼 製 品	1	0	1	51(15)
国 家 1 種	0	0	0		非 鉄 金 属	0	0	0	14.0%
国 家 2 種	3	1	4		金 属 製 品	1	2	3	
国 家 3 種	0	0	0	4 (1)	一 般 機 械 器 具	4	1	5	
そ の 他 国 家	0	0	0	1.1%	電 気 機 械 器 具	6	1	7	
国 税 関 係	0	0	0		輸 送 用 機 械	4	1	5	
地 方 上 級	2	0	2		精 密 機 械	0	1	1	
地 方 中 級	1	0	1	14 (2)	そ の 他 の 製 造	4	4	8	
地 方 初 級	0	0	0	3.9%	卸 売 業	23	6	29	80(20)
警 察 関 係	5	0	5		小 売 業	37	14	51	22.0%
市 町 村	4	2	6		銀 行 ・ 信 託 銀 行	33	22	55	
教員(私立含む)	0	0	0	0.0%	証 券 ・ 商 品 取 引	9	3	12	101(37)
					生 保 ・ 損 保	3	5	8	27.8%
地 方 名	求人会社数		地方別	地方別	そ の 他 の 金 融	19	7	26	
	%		就職数	就職率	不 動 産 業	6	3	9	2.5%
北 海 道	41	2.1	6	1.7	運 輸 業	10	4	14	17(5)
東 北	81	4.2	20	5.5	通 信 業	2	1	3	4.7%
群馬(高崎以外)	144	7.4	70	19.3	電 気 ガ ス 水 道	0	0	0	0.0%
高 崎	62	3.2	19	5.2	医 療 サ ー ビ ス	2	1	3	
関 東	210	10.7	38	10.5	法 務 サ ー ビ ス	0	0	0	
東 京	830	42.5	124	34.1	教 育 サ ー ビ ス	4	0	4	
甲 信 越	91	4.7	23	6.3	宗 教 サ ー ビ ス	0	0	0	71(21)
北 陸	74	3.8	12	3.3	非 営 利 団 体	0	0	0	19.6%
東 海	152	7.8	27	7.4	そ の 他 サ ー ビ ス	23	14	37	
近 畿	162	8.3	18	5.0	情 報 処 理	21	6	27	
中 国	57	2.9	1	0.3	国 家 公 務 員	3	1	4	1.1%
四 国	19	1.0	4	1.1	地 方 公 務 員	12	2	14	3.9%
九 州	27	1.4	1	0.3	計	256	107	363	100.0%
国 外	0	0.0	0	0.0					
計	1,950	100.0	363	100.0					

() 内は女子

平成16年度就職状況

地域政策学部

学生生活

項目	男	女	計	備考	業種	男	女	計	備考
卒業予定者 A	154	79	233		農 林 漁 業	0	0	0	0.0%
留 年 者 B	24	3	27		鉱 業	0	0	0	0.0%
卒 業 者 C	130	76	206	(A - B)	建 設	1	0	1	0.8%
就職希望者 D	85	48	133		食 品 製 造	1	0	1	
就職以外の 進路決定者 E	33	21	54	内大学院進学者 13人	織 維 工 業	0	0	0	
そ の 他 F	12	7	19		織 維 製 品	0	0	0	
就 職 者 G	84	47	131	98.5% (G / D)	出 版 印 刷	2	2	4	
大 企 業	41	22	63	48.1% 従業員>= 500	化 学 製 品	2	0	2	
中 企 業	18	12	30	22.9% 従業員>= 100	石 油 製 品	0	0	0	20(4)
小 企 業	7	6	13	9.9% 従業員<= 100	鉄 鋼 製 品	0	0	0	15.3%
国 家 1 種	0	0	0		非 鉄 金 属	0	0	0	
国 家 2 種	1	0	1	4 (2)	金 属 製 品	2	0	2	
国 家 3 種	0	0	0	3.1%	一 般 機 械 器 具	0	0	0	
そ の 他 国 家	1	2	3		電 気 機 械 器 具	0	2	2	
国 税 関 係	0	0	0		輸 送 用 機 械	5	0	5	
地 方 上 級	1	0	1		精 密 機 械	0	0	0	
地 方 中 級	0	1	1	21 (5)	そ の 他 の 製 造	4	0	4	
地 方 初 級	0	0	0	16.0%	卸 売 業	4	0	4	19(7)
警 察 関 係	7	1	8		小 売 業	8	7	15	14.5%
市 町 村	8	3	11		銀 行 ・ 信 託 銀 行	8	8	16	
教員(私立含む)	0	0	0	0.0%	証 券 ・ 商 品 取 引	1	1	2	22(11)
					生 保 ・ 損 保	1	0	1	16.8%
地 方 名	求 人 会 社 数		地 方 別 就 職 数	地 方 別 就 職 率 %	そ の 他 の 金 融 不 動 産 業	1	2	3	2.3%
	%				運 輸 業	1	2	3	
北 海 道	41	2.1	5	3.8	通 信 業	9	1	10	11(2)
東 北	81	4.2	8	6.1	電 気 ガ ス 水 道	0	1	1	8.4%
群 馬 (高 崎 以 外)	144	7.4	23	17.6	医 療 サ ー ビ ス	1	3	4	
高 崎	62	3.2	11	8.4	法 務 サ ー ビ ス	0	0	0	
関 東	210	10.7	11	8.4	教 育 サ ー ビ ス	0	0	0	29(13)
東 京	830	42.5	39	29.8	宗 教 サ ー ビ ス	0	0	0	22.1%
甲 信 越	91	4.7	9	6.9	非 営 利 団 体	1	1	2	
北 陸	74	3.8	2	1.5	そ の 他 サ ー ビ ス	10	9	19	
東 海	152	7.8	8	6.1	情 報 処 理	4	0	4	
近 畿	162	8.3	8	6.1	国 家 公 務 員	2	2	4	3.1%
中 国	57	2.9	5	3.8	地 方 公 務 員	16	5	21	16.0%
四 国	19	1.0	0	0.0	計	84	47	131	100.0%
九 州	27	1.4	2	1.5					
国 外	0	0.0	0	0.0					
計	1,950	100.0	131	100.0					() 内は女子

◆業種別就職状況 **経済学部**

() 内の数字は複数

■農林漁業

柴崎牧場

■建設業

群馬セキスイハイム(株) 旭化成ホームズ(株) 積水ハウス(株) ニューハウス工業(株) 大和ハウス工業(株) 富士ハウス(株) (株)パナホーム北関東 (株)一条工務店 ミサワホーム(株) 茨城セキスイハイム(株) ミサワホーム西関東(株)② グラッデン・ホーム (株)夢ハウス (株)大和

■製造業

三国コカ・コーラボトリング(株) メルシャン(株) 森永乳業(株)② 岩塚製菓(株) 日本食研(株)② (株)山安 上毎印刷工業(株) 三浦印刷(株) 上武印刷(株) (株)河北新報社 パリッシュ出版(株) 朝日印刷(株) 杏林製菓(株) ライオン(株)② アイカ工業(株) 扶桑薬品工業(株) 出光興産(株) 中京化成工業(株) 理研鍛造(株) トステム(株) 三恵工業(株) アジアアルミ(株) (株)オギハラ レオン自動車(株) (株)平和 東芝機械(株) (株)高見沢サイバネティックス 埼玉日本電気(株) 東光(株) パイオニア(株) (株)福井村田製作所 日置電機(株) 住友電装(株) スター精密(株) 小倉クラック(株) 日銀バルブ(株) 河西工業(株) 日新工機(株) (株)一十 (株)大和テクノシステムズ エスビック(株) 白十字(株) べんてる(株) アイリスオーヤマ(株) (株)キングジム ザ・バック(株) (有)関口木型製作所 (株)ESSクリエイツ エスエス製菓(株)

■卸売業

(株)仙台水産 (株)ミスミ (株)モテキ 岩瀬産業(株)④ (株)大塚商会 キヤノン販売(株) (株)ニッセイコム (株)マルイチ産産 (株)スズケン スギウラ(株) (株)ハイビック ジュコス(株) 日立コンシューマ・マーケティング(株) 都築電気(株) サンメディアックス(株) (株)バイタルネット (株)オリジン セントラル商事(株) (株)トクデンプロセル (株)コイケ 松下制御機器(株) (株)アイ・シー・エス 協和医科器械(株) リコー販売(株) (株)栃木ブリヂストン 島崎商事(株)

■小売業

(株)ニトリ② (株)ベシア④ 群馬ダイハツ自動車(株) ネットトヨタ群馬(株) (株)ヤマダ電機 (株)ヤオコー (株)西武百貨店② (株)セブン-イレブン ジャパン② (株)ビックカメラ ゲンキー(株)② (株)三越 (株)コメリ 豊長自動車販売(株)② (株)ローソン (株)カインズ② 群馬トヨタ自動車(株) ネットトヨタ高崎(株) (株)ナイス (株)カオスミ (株)クスリィのマルエ (株)カワチ薬品 (株)フジタコーポレーション (株)ファーストリテイリング (株)たけうち (株)マルイ (株)ノジマ (株)関東マツダ② 花王販売(株) (株)ヴィ・ド・フランス ネットトヨタ東埼玉(株) (株)ナガタ薬局 (株)九九プラス (株)シー・ヴィ・エス・ベイエリア (株)フォーレスト 新発田ヤクルト販売(株) (株)ワールドストアパートナーズ H MV ジャパン(株) (株)ブライム M (株)ジャパネットたかた (株)クレマー・ジャパン 生活協同組合さいたまコープ

■金融業

(株)北洋銀行 (株)北海道銀行 (株)青森銀行② (株)みちのく銀行② (株)東北銀行 (株)七十七銀行 (株)秋田銀行② (株)荘内銀行 (株)福島銀行 (株)常陽銀行③ (株)栃木銀行 (株)群馬銀行⑧ (株)東和銀行③ 中小企業金融公庫 日本銀行 (株)北越銀行③ (株)富山第一銀行 (株)北陸銀行③ (株)北國銀行 (株)山梨中央銀行 (株)八十二銀行 (株)十六銀行 (株)清水銀行 (株)愛知銀行 (株)中京銀行 (株)三重銀行 (株)東京三菱銀行 エース交信(株) 大和証券(株) 日興コーポリアル証券(株) 三貴商事(株) グローバリー(株)② 光陽トラスト(株) 三菱証券(株)② S M B C フレンド証券(株)② オリオン交信(株) 全国共済農業協同組合連合会群馬県本部 第一生命保険(相) (株)損害保険ジャパン 日本生命保険(相) 群馬県民共済生活協同組合 住友生命保険(相) (すみれい) 全国共済農業協同組合連合会長野県本部 茨城県農業共済組合連合会 桐生信用金庫② 群馬県信用組合 ぐんま信用金庫② (株)武富士 中央労働金庫② 東京信用保証協会 長野県信用組合 静岡県労働金庫 浜松信用金庫 富士宮信用金庫② 高崎信用金庫② かんら信用金庫② 静岡信用金庫 (株)S F C G 結城信用金庫 豊田信用金庫 (株)日産フィナンシャルサービス イオンクレジットサービス(株) 四国労働金庫 三井住友カード(株)

■不動産業

(株)ダイナシティ 東急リパブル(株) (株)ニッテイ (株)菱和ライフクリエイト② 大京管理(株) スカイコート(株) (株)東祥 エムエムエスマンションマネージメントサービス(株)

■運輸・通信

ケイヒン(株) 全日本空輸(株) 日本通運(株) J T B 東日本旅客鉄道(株)③ 鈴与(株) 名鉄観光サービス(株)② センコー(株) (株)群馬バス (株)江ノ島電鉄 ソフトバンク B B(株)③ ビックホリデー(株)

■サービス業

日本赤十字社長野県支部 川崎メンタルクリニック セントラルレディースクリニック (株)栄光ゼミナール 栄光学園 (株)中萬学院 ホクレン農業協同組合連合会 全国農業協同組合連合会群馬県本部 (株)群馬ロイヤルホテル (株)京王プラザホテル 全国農業協同組合連合会 (株)ダイナム 毎日コミュニケーションズ(株) (株)リクルート 協同リース(株) 宇野会計事

務所 アイエックス・ナレッジ(株) はぐくみ農業協同組合 アビームコンサルティング(株)
 (株)メガロス (株)三菱化学ビシーエル (株)審調社 田村税理士事務所 (株)ジェイ・ブロード
 山崎会計事務所 上伊那農業協同組合 (株)レオックジャパン 塚原会計事務所 税理士天
 野崎一事務所 T I S コンサルティング(株) (株)金馬車 あいち豊田農業協同組合 越後さん
 とう農業協同組合 (株)山下商会 (株)宮城読売サービス・センター (株)インフォテック(株) L. A. P
 コンピュートロン(株)② (株)ナブ・アシスト② (株)両毛システムズ (株)インフォテック(株) 朝日
 (株)中央コンピュータシステム N E C ネットソリューションズ(株) インフォテック(株) 日
 立物流ソフトウェア(株) (株)ディンブス (株)高崎共同計算センター マクロ(株)② J F E シス
 テムズ(株) T I S システムサービス(株) (株)さくら情報システム (株)データシステム 米沢 (株)
 アビームシステムエンジニアリング (株)システムシンク ワールドビジネスセンター(株) (株)
 ベストソリューション (株)ワークスアプリケーションズ (株)システムアドフォース (株)イン
 フォメーションクリエティブ (株)サン情報開発 (株)システムプラン (有)コスモス・リーガ
 ル・アカデミー (株)ホワイトウィングス (株)テイクオフ 甲斐ゼミナール (株)全日警 (株)
 アイティー・イット (株)アクロス

■公務
 経済産業省 群馬労働局 埼玉労働局 新潟地方財務局 山形県庁 相馬市役所 茨城県警
 群馬県警 警視庁 前橋市役所(消防) 武生市役所 三重県警 愛媛県庁 京都府警 東
 京消防庁 東村役場(佐波郡) 妙義町役場 堀金村役場

◆業種別就職状況 地域政策学部

() 内の数字は複数

■建設業

大和ハウス工業(株)

■製造業

宝酒造(株) 中央出版(株) パリッシュ出版(株) 小野薬品工業(株) 田辺製薬(株) 関東精密鋸断(株)
 城東電機産業(株) (株)秋葉ダイカスト工業 カルソニックカンセイ(株) 三菱自動車工業(株) ス
 ズキ(株) エンケイグループ技研(株) 三甲(株) タカラベルモント(株) 倉敷化工(株) 岡部工業(株)
 (株)リックテレコム 相互印刷工業(株)

■卸売業

カメイ(株) 群馬リコー(株) (株)タケイ (株)カクヤス

■小売業

(株)ニトリ③ (株)中三 群馬日産自動車(株) ネットトヨタ群馬(株) (株)レリアン ホーマック(株)
 (株)日本レストランエンタプライズ 日本瓦斯(株) (株)関東マツダ 花王販売(株) (株)ハローズ
 サミット(株) (株)ライトオン

■金融業

(株)北海道銀行 (株)山形銀行 (株)山形しあわせ銀行 (株)関東つくば銀行 (株)常陽銀行② (株)群
 馬銀行④ 国民生活金融公庫 (株)長野銀行 (株)八十二銀行 (株)百五銀行 (株)島根銀行 (株)東
 京三菱銀行 いちよし証券(株) 朝日ユニバーサル貿易(株) 第一生命保険(相) 長野県信用
 組合 福島県商工信用組合 広島市信用組合

■不動産業

オークラヤ住宅(株) (株)アサヒファシリティズ (株)群馬総合土地販売

■運輸・通信

日本通運(株) トナミ運輸(株)② (株)群馬バス 西日本旅客鉄道(株) (株)日新 福岡エア・サービ
 ス(株) しの鉄道(株) (株)ナカムラロジスティクス (株)ツーリストサービス ソフトバンク B
 B(株)

■電力・ガス

東北電力(株)

■サービス業

特定・特別医療法人仁厚会 丸橋全人歯科 栃木商工会議所 群馬テレビ(株) (株)三恒 E L
 B E C 教育図書センター(株) 毎日コミュニケーションズ(株) (株)ラジオ高崎 佐波伊勢崎農業
 協同組合 (株)オカード (株)第一経営相談所 (株)メンテック・カンザイ (株)音羽ノ森 めぐ
 みの農業協同組合 富士観光開発(株) (株)総合スタッフ・オブショナリー② (株)泉放送制作
 (株)アガミス (株)ホンダ産業 (株)両毛システムズ 東京コンピュータサービス(株) (株)アルファ
 システムズ (株)ノービルシステム 前橋協立病院(財) 静岡県学校給食会 社会福祉法人
 希望館 (有)イフステージサービス (株)リクルート

■公務

海上自衛隊 日本郵政公社② 公安調査庁 福島県警 茨城県庁 桐生市役所 群馬県警③
 玉村町役場 富岡市役所 沼田市役所 深谷市役所 警視庁③ 新潟県庁 富士市役所 高
 崎市等広域消防局 高崎市役所 西村山広域行政事務組合 上野村役場 丸子町役場 埼玉
 県警



平成 15 年 12 月に発行されました「鶴鷹祭 30 回記念誌」に思い出は書きましたが、第 1 回となる交流戦が開催されたのは、私が大学 4 年の昭和 48 年のことです。

都留文科大学の体育館の落成の記念に交流戦をやりたいというお話が、大学の事務局からあり、当時の体育会に所属し、交流戦に参加する部、体育会本部の方々と参加することになりました（どのくらいの部が参加したか詳細は覚えておりません）。

私たち空手道部は、2 大学の交流戦ではなく、(社) 日本空手協会に所属していた関係で、当時交流のあった麗澤大学に私たちが参加を依頼し、都留文科大学が山梨大学に依頼し、4 大学の交流戦を行いました。日本空手協会のリーグ戦の一環のような試合でした。

試合後の懇親会するとき、空手道部の顧問の河西先生から、「公立大学として、交互に交流戦ができればいいね」といわれたのを覚えています。それが 30 回を数え、今年は 32 回目になるまで続けられるとは思いませんでした。関係各位の並々ならぬご尽力の賜物だと思います。

私事ですが、都留文科大学には高校（宮崎県立小林高校）から 2 名の同級生が入学しており、その際、4 年ぶりに彼らに会え、話ができただのも楽しい思い出となっています。

記念誌の記録を見ると、6 回までは戦績などの詳細記録はなく、親睦の交流だったようです。その後、各部が互いに切磋琢磨されて、勝敗を競う大会になっています。

「鶴鷹祭」という名前も 20 回目からつき、両大学の交流と、戦績を競う一大イベントになり、部員の意識と技術を披露する「祭」にもなっています。

隔年で、高崎で開催されるときは、空手道の試合の審判を務めさせていたのですが、親睦、交流を通しながら、更なる技術の向上と発展を祈っております。



学生の頃一番楽しかった事は？と尋ねられて、一番に頭に浮かぶのはいつでも 2004 年の第 31 回鶴鷹祭です。あれがこれまでの人生で一番燃え上がった出来事でした。30 回記念大会に続き、少し革新をもたらそうという思いで本部員が一致協力してきたので、約半年という長い準備期間でしたがその中には辛さというものは一切ありませんでした。本当に日々楽しく、充実していました。特に 6 月に入ってから、忙しい日々が続いていました。本部室で朝 3 時 4 時までパソコン画面に向かっていることがよくあり、その度に他の本部員を巻き添えにしていました (実際のところは雑談で時間を取っていたような)。参加者の皆さんに楽しんでいただくための企画行事であったのですが、今考えると企画者が一番楽しんでしまったかもしれません。しかし、社会人になり、現場で働くようになってふと思います。サービスを提供する側が楽しさを持っていなければ、受ける側はやはり楽しくは無いのではないかと。そういう考えで思い返してみると、去年の鶴鷹祭で自分たちがやってきた事も間違っていないかと思えます。実際、大会終了後には楽しいと感じて頂いた参加者が大勢いたので本当に嬉しく思っています。またその分多くのご意見も頂きました。その一つ一つを想定して次回にどう反映させるかによって、これからの鶴鷹祭も変わっていく事でしょう。地味と思える仕事ほど派手なものはない。そういう考えを頭に置いていたおかげで全ての仕事にやりがいを感じる事が出来ました。

社会人になってからの自分はというと、まだやりがいを探している状態です。どの様にすればもっと仕事を楽しくこなせるかと日頃から考えています。ひとつだけ絶対に気をつけていることは、お客様の目線を徹底して意識するという事です。自分がお客様の立場なら、と考えると自然と見直しが出来ます。お客様にお褒めのお言葉をいただいたときの嬉しさは計り知れないものがあります。一つ一つの心がけが結局は仕事を楽しくさせるのであるという意気込みでこれからも一歩ずつ前進していきます。

クラブ紹介(47)

ボート部

こんにちは、ボート部です。ボート部は、部員のほとんどが大学に入って初めてボート競技を始めました。なので、各部員やクルーごとに目標を設定し、その達成に向け努力しています。練習は、毎週、火、木、土曜の早朝、榛名湖において部員24名で活動しています。同学年のみならず、先輩・後輩の仲も非常によく、雰囲気もとてもよい部活です。年に数回ある大会、また、三扇祭などの学校行事においても部全体が協力し合って取り組んでいます。主な年間行事としては、5月の信濃毎日新聞社杯諏訪湖レガッタを皮切りに、10月の河口湖レガッタまでに行われる年数回の大会、合宿、三扇祭への参加、新歓コンパ、納会などです。

部としての目標は、各種大会での上位入賞です。初心者が多いので、強豪校に勝つことは容易ではありませんが、年々実力もアップしており、現在の2年生クルーはかなり有望です。その他のクルーも着実に力をつけているので、今後も努力していきたいです。

榛名湖にお立ち寄りの際には、ぜひ見学にいらしてください。部員一同お待ちしております。(幹事長 経済学部3年 松原 康生)



クラブ紹介(48)

マンドリンクラブ

皆さん、はじめまして。マンドリンクラブです。我々マンドリンクラブは、男女合計21人で構成されている音楽サークルです。毎週月曜日と金曜日の部会を活動の基盤とし、内容は個人による演奏練習及び全体による合奏練習となります。現在うちのサークルには音楽経験者から未経験者まで、実に様々な者がおります。ですが皆、音楽が好きという点で固く結ばれています。ちなみに、マンドリン楽曲以外にもPOPSやオーケストラ等、比較的馴染みやすい楽曲も練習しており、またマンドリンの他にもクラシックギターやコントラバスを扱っています。

「マンドリンって何だろう」と思う方は多いかと思いますが、マンドリンとはイタリア発祥の歴史・由緒共に深い弦楽器です。実際に演奏を聞いた事がある方ならお分かりかと思いますが、澄んだ綺麗な音色が大きな特徴です。

行事といたしましては、毎年12月に高崎市文化会館にて定期演奏会を行っています。準備から運営、演奏までを自分たちの手で行うのは大変ですが、部員同士が本物の「仲間」となり、必死になってやり遂げた後の感動は言葉では言い表せないものがあります。定期演奏会以外にも三扇祭での演奏も毎年行っています。こういった演奏活動の他にも、部員皆で遊びに行ったり合宿をしたりと楽しい行事が目白押しです。

音楽が好きな人、仲間がほしい人、実際にマンドリンをやっていた人、これから音楽を始めてみたいと考えている人。どんな理由であれ、少しでも興味がありましたら是非とも音サ棟2階のマンドリンクラブ部室を訪ねてみて下さい。365日、いつでも部員一同心よりお待ちしております。(幹事長 地域政策学部3年 色川 雄樹)



● 愛 知 県

古くは戦国三傑（織田信長、豊臣秀吉、徳川家康）の活躍で世に尾張・三河の国の名を響かせ、今は海に浮かぶエアシティ中部国際空港「セントレア」、
「自然の叡智」愛・地球博等々、世の中に明るい話題を振りまくは、ご存知日本列島のど真ん中、愛知県であります。

愛知県は古来関東と関西を結ぶ東海道の要所として発展したことから、製造品出荷額等（2001年）は3兆45364億円で26年連続全国1位を誇る世界有数のものづくりの拠点とされる工業県です。日本を代表する企業・トヨタ自動車を筆頭に、無借金経営を含め堅実さを重視する傾向が強いのが特徴です。しかし、ただ単に質実剛健を求めているわけでもありません。喫茶店のモーニングサービスは名古屋発祥といわれたり、見栄の為には気前良くお金を使ったりすることでも知られています。名古屋では「娘を三人産むと破産する」といわれるくらいです。引き出物の重さに拘る人達なのです。

戦国三傑達もそうですが、恐ろしく保守的な風土、他に惑わされず、損得勘定を忘れず、自身のスタイルを貫き自立心が旺盛なのが愛知の県民性といえます。

今、そんな気質が認められつつあるのは大変嬉しい事ではありますが、キワモノ好きと勘違いされるのは困ります。ご当地の本物の味、人々、底力に触れて頂きたいというのが私の本音です。

そういう訳で、是非一度、愛知に足を運んでみてはいかがでしょうか？



(セントラルタワーズ)



(香嵐溪)



(名古屋城)

● 中国・瀋陽 地域政策学部3年 趙 莉さん



私のふるさととは中国の瀋陽というところなんです。中国と言うと日本では“未開”の印象を持っている方もいるし、上海と北京しか知らない方もいるかもしれませんが、ここで、学報をきっかけに、私のふるさと—瀋陽を皆さんに紹介したいと思います。

瀋陽は中国の東北三省の一つである遼寧（りょうねい）省の省都です。市内を流れる渾河の古名・瀋河の北に位置することから、瀋陽と名づけられています。瀋陽の総面積は13,000平方キロ（市区面積3,495平方キロメートル）、人口は約737万人、中国でも5番目に大きな都市で、東北地方の主要都市として政治、文化や経済中心などの大きな役割を果たしています。また、瀋陽は中日交流の面でも重要な役割を果たしています。瀋陽では、日本の総領事館が設置され、北海道札幌市と神奈川県川崎市と友好都市提携しています。

瀋陽は工業が最も盛んで、市の郊外には多くの重化学工場が立ち並んでいます。瀋陽をはじめとする東北三省は石油、石炭など豊富な資源を生かした一大コンビナートで、20世紀後半における中国の発展を工業面で支えてきました。そして、近年瀋陽は、都市建設、商業、旅行業、科学技術開発などにも力を入れていて、日本の高度成長期を思わせる活気に満ち溢れている近代都市と言っても過言ではありません。

瀋陽には、新楽遺跡（約7200年前の女系氏族の定住集落）、瀋陽故宮、北陵、東陵（清王朝一、二代目皇帝の皇居、陵墓）などたくさんの歴史古跡や古い建築物が残っています。それらの歴史古跡は現代の建築物に囲まれて、輝いている真珠のように、私の故郷—瀋陽を更に美しくさせています。

現在、瀋陽桃仙国際空港から東京の成田、大阪への直行便があり、東京から瀋陽までは、たった2時間しかかかりません。皆さん、もし中国へ旅行をするとしたら、是非私のふるさと“瀋陽”に行ってみてください。



瀋陽上空からの写真



瀋陽の商店街—中街



瀋陽故宮

LTU短期留学に参加して

経済学部3年 高木崇年さん

5週間、思えばあっという間に過ぎてしまいました。そしてサイコーに楽しかった。これからラトロープに留学する皆さんがうらやましいかぎりです。

オーストラリア本土に着いた初日、それぞれのホームステイ先へ送られました。ホストマザーとの出会いです。緊張の一瞬です、「な、ナイストゥミーチャー…」、もはやこれは日本語だと思ながらも挨拶しつつ部屋に案内されました。次に隣人を紹介されましたが何を言っているのかよく分からず、オーバーリアクション気味で「オ～ソーリー、please more slowly?」というと私にもわかるように非常に遅く言ってくれたので助かりました。初日はとても長く感じました。

語学センターではクラスメートにタイ人のクリット、香港人のカイザー、龍谷大、関西外語大、北海道文教大、社会人の方々がいました。幸か不幸か、高経大はクラスに私一人だけでした。最初は戸惑ったもののすぐに慣れクリットとカイザー、龍谷大の人達と行動を共にするようになり、とにかく英語で話すことを意識して喋りました。恋のこと、将来のこと。クリットの恋のキューピットになろうとしましたが、結果は失敗…。カイザーの学生寮に行ったり、ときにまじめに人種差別の問題なども喋りました。海外の方々は日本の文化をよく知ってくれていました。しかし私は海外の伝統・文化をあまり理解していなかったので申し訳なく感じ、理解しなければいけないと改めて思いました。私は英語は全然できません、しかし話す姿勢はとても大切だと思います、特に相手の目を見て話すことです。ただし言ったことには責任を持ってください…。

見るものすべてが刺激的なオーストラリア、また機会があれば訪れたい場所です。留学費用は捻出が大変でした。しかーし！留学費用以上の体験がそこには待っています！！最後に大学生協・学生課の皆さん、また留学に関わった皆さん、有難うございました。

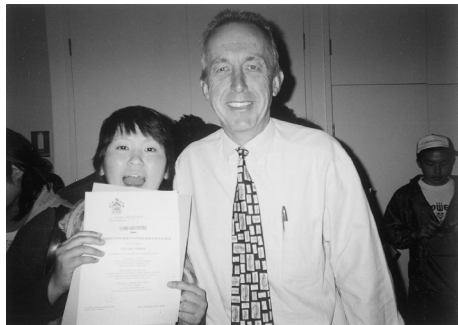


LTU (オーストラリア) 短期留学に参加して

地域政策学部2年 廣瀬華子さん

私は前々から英語が得意ではないが好きなお方ではあったし、海外には一生のうちで一度は行きたいと考えていた。今回のこの短期留学が私にとって初めての海外となったのだが、どうせ行くなら大自然と多くの動物達のいるオーストラリアにしようという本当に安易な理由で申し込んだのが参加したきっかけである。行くまでの準備までは全然緊張や不安はなく、空港を降りてからホストファミリーに迎えられても、ちっとも実感が湧かなかった。しかし、見るもの全てが目新しいものばかりで、体験することや行く所も驚きの連続だった。私達が毎日、語学研修プログラムのために通っていたランゲージセンターという所は様々な国の人々が行き交い、国籍など全く関係ないといった感じで気さくに会話をし合っていた。また初日のテストで割り振られたクラスでも先にクラス分けされていた日本人やスリランカ人、コロンビア人、韓国人、それに中国人のあらゆる年齢の学生が私を明るく和やかに迎えてくれた。担任の先生も勉強だけでなく、時にはクラスメイト全員で出掛ける計画を考えてくれたりもした。

私のホームステイ先では、料理好きのホストマザーがとても気遣ってくれて、毎日凝った夕飯をよういしてくれた。そこの家の小さな息子たち二人も語彙力の乏しい日本人の私に臆する事無く、話しかけてくれたり遊びに交えてくれたりした。そのため、いつも子供達の元気な声とホストファザーのお説教が家中に響いているのが今では懐かしく思える。毎週末にはツアーや友達と計画していつも出掛けていたが、どこに行っても観光名所とお土産屋は困らない程で、毎回写真を何十枚も撮っていた。とにかく一言では言い表せないくらい、予想以上にいろんな事を体験出来た今回の5週間の短期留学は私にとって非常に多くのものを得られるものとなった。それはここで出会えた人達の力が最も大きいと思う。決して英語力を学ぶだけでは終わらない、このLTUへ行きたいという興味がある人は試して参加して、私のように様々な体験をしてきてほしいと思う。一生のうちで貴重な5週間をこのオーストラリアで過ごしてみるの、いかがだろうか？



開学!! 高崎経済大学

その式

高崎今昔物語

1957年（昭和32年）、高崎十五連隊兵舎を利用して高崎経済大学は開学した。開学当時の場所は現在と異なり、今の音楽センター西側であった。施設面ではあまり充実したものでは無かったらしいが、街の中心にも近く街中へ行くには便利なところであったという。開学当時の在校生は、高経大最初の入試を受験して入学してきた1年生と、高崎市立短期大学から編入してきた2年生の2学年であった。

ここで高崎経済大学の前身、高崎市立短期大学について少し触れてみたい。

高崎市立短期大学は、初代学長に立教大学経済学部長・河西太一郎先生を迎え1952年（昭和27年）3月に創立された。

しかし短期大学を四年制大学へ昇格させる動きは、既に翌年の1953年（昭和28年）には学内外より湧き起こっていた。この動きはその後も衰えることなく、1957年の高崎経済大学への昇格へと実を結んでいったのである。

四年制大学へと昇格した高崎経済大学であるが、その後学生数の増加のため教室が手狭になり、開学から4年後の1961年（昭和36年）4月に現在の場所へ移転したのであった。

2年後の2007年度には、開学50周年を迎える本学であるが、現在は卒業生も2万名を超え、全国にも名だたる大学へと成長した。しかし、そういった成長も、卒業生の努力の上に成り立っていることを忘れてはならない。



Buon appetito!!



～「パスタの街」高崎を歩く～ (3)

高崎市は、「パスタの街」です。今回で3回目となるこの企画、今回も高経大の近くにあるお店ですので、是非足を運んでみて下さい。

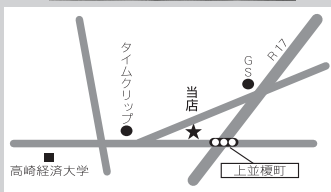
エスト

人気メニュー **TOP3**

No. 1 ほたて貝とフルーツマトのスパゲッティ

No. 2 海の幸とほうれん草入りクリームスパゲッティ

No. 3 フレッシュトマトとモッツァレラのスパゲッティ



住所：高崎市上並榎町479-3

営業時間：11：00～22：30 火曜定休

TEL：027-363-0295

**カジュアルレストラン
じゃがいも**

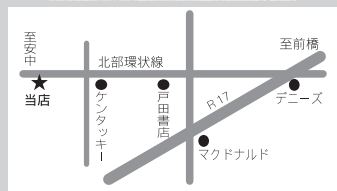
※じゃがいもさんはお得なセットメニューが人気!!

おすすめメニュー **TOP3**

No. 1 レディースセット

No. 2 じゃがいもセット

No. 3 魚介のトマト味辛ロスパゲッティ



住所：高崎市筑縄町47-10

営業時間：11：00～23：00 無休

TEL：027-362-8851

シリーズ

人事関係記事

(平成 17 年 4 月 1 日付)

【教 員】

新規採用

経済学部 中路 敬 助教授
池田 幸典 講師
内藤 まゆみ 講師

退職

経済学部 飯岡 秀夫 教授

昇任 ※ () 内は前職

経済学部 石井 久子 教授(助教授) 今野 昌信 教授(助教授)
藤野 寛 教授(助教授) 林 宰司 助教授(講師)
地域政策学部 新田 浩司 教授(助教授)

【職 員】

転出〔昇任含む〕※ () 内は転出先

事務局長・樋口 作雄(退職)
庶務課長・八木 明道(市民部交通地域安全課長)
庶務課情報担当主査・菊間 友晴(財務部市民税課長補佐(兼)市民税担当係長)
庶務課専門員・大野 雅美(保健福祉部長寿社会課介護保険室主任主事)
庶務課主事・三上 寧(建設部建築指導課主事)
教務課主任主事・武井 布美子(保健福祉部長寿社会課主任主事)
教務課主事・伊藤 俊一郎(下水道局水質浄化センター主事)
入試課主査・竹田 玲子(財務部財政課主査)
学生課専門員・田村 裕志(財務部資産税課主任主事)
学生課主事・福田 有(市民部交通地域安全課主事)
附属図書館事務室長・八木 登(市民部男女共同参画課長)
附属図書館事務室学術研究担当主査・中村 真由美(都市整備部都市計画課長補佐(兼)景観担当係長)

転入〔昇任含む〕※ () 内は前職

事務局長・石塚 正春(監査委員事務局長)
庶務課長・小金沢 明彦(教育委員会事務局教育部庶務課長)
庶務課課長補佐(兼)情報担当係長・桑原 万明(会計課課長補佐(兼)庶務担当主査)
庶務課主事・荻沢 久子(会計課主事)
庶務課主事補・竹内 芳徳(新規採用)
教務課主査・関原 俊雄(農政部農林課主査)
教務課主任主事・天田 ゆかり(市民部保険年金課主任主事)
入試課主任主事・深澤 剛(保健福祉部介護保険課主任主事)
入試課主任主事・宮澤 祐子(財務部市民税課主任主事)
学生課主査・平田 敏則(保健福祉部健康課主査)
学生課主事補・久松 和信(新規採用)
附属図書館事務室長・茂木 利夫(市長公室文化課付課長(財団法人 高崎市文化事業団))
附属図書館事務室学術研究担当係長・藤田 規代(図書館主査)

局内異動〔昇任含む〕※ () 内は前職

庶務課長補佐(兼)庶務担当係長・佐藤 誠(庶務課庶務担当主査)
入試課長補佐(兼)入試担当係長・関根 幸男(入試課入試担当主査)
入試課主査・大塚 紀子(入試課専門員)
庶務課主任主事・今泉 美穂(庶務課主事)
附属図書館事務室主任主事・高橋 宏文(附属図書館事務室主事)

平成17年度入学試験実施状況

経済学部

() 数字は女子で内数

試験区分	志願者数	受験者数	入学者数
前期日程	1,032 (228)	926 (208)	138 (22)
公立大学中期日程	3,980 (879)	2,651 (588)	323 (61)
推薦	118 (40)	117 (40)	79 (29)
私費外国人留学生	76 (32)	74 (31)	14 (6)
社会人	1 (0)	0 (0)	0 (0)
帰国生徒	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2・3年次編入・転入	16 (4)	13 (4)	1 (0)
合計	5,223 (1,183)	3,781 (871)	555 (118)

地域政策学部

試験区分	志願者数	受験者数	入学者数
前期日程	886 (270)	824 (253)	208 (62)
後期日程	602 (184)	312 (96)	52 (18)
推薦	76 (31)	76 (31)	45 (21)
私費外国人留学生(1次)	75 (31)	74 (31)	25 (7)
私費外国人留学生(2次)	33 (22)	32 (22)	4 (2)
社会人	2 (1)	2 (1)	2 (1)
2年次編入・転入	12 (6)	12 (6)	5 (3)
3年次編入・転入	52 (23)	52 (23)	16 (9)
2年次編入(県内推薦)	4 (4)	4 (4)	4 (4)
3年次編入(県内推薦)	3 (3)	3 (3)	3 (3)
合計	1,745 (575)	1,391 (470)	364 (130)

大学院 経済・経営研究科

	選抜区分	志願者数	受験者数	入学者数
博士前期 第1期試験	現代社会経済システム専攻	11 (1)	11 (1)	5 (0)
	現代経営ビジネス専攻	11 (3)	11 (3)	6 (3)
	計	22 (4)	22 (4)	11 (3)
博士前期 第2期試験	現代社会経済システム専攻	4 (0)	4 (0)	1 (0)
	現代経営ビジネス専攻	14 (4)	14 (4)	8 (3)
	計	18 (4)	18 (4)	9 (3)
博士後期課程		1 (0)	1 (0)	1 (0)
経済・経営研究科合計		41 (8)	41 (8)	21 (6)
聴講生・科目履修生		0 (0)	0 (0)	0 (0)

大学院 地域政策研究科

		志願者数	受験者数	入学者数
博士 前期課程	秋季日程試験	17 (4)	17 (4)	14 (4)
	春季日程試験	10 (1)	10 (1)	8 (1)
	計	27 (5)	27 (5)	22 (5)
博士後期課程		5 (2)	4 (1)	4 (1)
地域政策研究科合計		32 (7)	31 (6)	26 (6)
聴講生・科目履修生		3 (1)	3 (1)	3 (1)

平成18年度入試日程

経済学部

試験区分	試験日	合格発表日	募集人員
前期日程	平成18年2月25日(土)	平成18年3月6日(月)	140名
公立大学中期日程	平成18年3月8日(水)	平成18年3月21日(火)	240名
推薦A	平成17年11月20日(日)	平成17年12月2日(金)	70名
帰国生徒	平成17年11月20日(日)	平成17年12月2日(金)	若干名
社会人	平成17年12月18日(日)	平成18年1月13日(金)	〃
2・3年次編入・転入	平成17年12月18日(日)	平成18年1月13日(金)	〃
3年次編入・転入	平成17年12月18日(日)	平成18年1月13日(金)	〃
私費外国人留学生	平成17年12月18日(日)	平成18年1月13日(金)	〃
推薦B(センター試験利用)	平成18年1月28日(土)29日(土)	平成18年2月10日(金)	30名

地域政策学部

試験区分	試験日	合格発表日	募集人員
前期日程	平成18年2月25日(土)	平成18年3月6日(月)	200名
後期日程	平成18年3月12日(日)	平成18年3月21日(火)	100名
2年次編入・転入	平成17年9月11日(日)	平成17年9月16日(金)	10名
3年次編入・転入	平成17年9月11日(日)	平成17年9月16日(金)	25名
推薦I	平成17年11月20日(日)	平成17年12月2日(金)	50名
帰国生徒	平成17年11月20日(日)	平成17年12月2日(金)	若干名
社会人	平成17年11月20日(日)	平成17年12月2日(金)	〃
私費外国人留学生(1次)	平成17年11月20日(日)	平成17年12月2日(金)	25名
私費外国人留学生(2次)	平成18年1月8日(日)	平成18年1月13日(金)	若干名
推薦II(センター試験利用)	書類選考のため選抜試験なし	平成18年2月10日(金)	45名

大学院 経済・経営研究科

試験区分	試験日	合格発表日	募集人員	
			一般学生	社会人学生 外国人留学生
博士前期課程第1期	平成17年9月11日(日)	平成17年9月16日(金)	一般学生	10名
			社会人学生	10名
			外国人留学生	若干名
博士前期課程第2期	平成18年2月18日(土)	平成18年3月9日(木)	一般学生	若干名
			社会人学生	若干名
			外国人留学生	若干名
博士後期課程	平成18年2月18日(土)	平成18年3月9日(木)	4名	

大学院 地域政策研究科

試験区分	試験日	合格発表日	募集人員	
博士前期課程(秋季日程)	平成17年9月11日(日)	平成17年9月16日(金)	一般学生	7名
			社会人学生	10名
			外国人留学生	3名
博士前期課程(春季日程)	平成18年2月18日(土)	平成18年3月9日(木)	一般学生	若干名
			社会人学生	若干名
			外国人留学生	若干名
博士後期課程	平成18年2月18日(土)	平成18年3月9日(木)	5名	

平成17年度 第22回公開講座

『循環共生社会への展望』

■ 講義方式

- ①環境と経済学
- ②ペットボトルリサイクル
- ③商業集積の形成と崩壊のメカニズムについて - 経済理論の視点から -
- ④公共交通利用を主軸とした地域社会の形成への展望
- ⑤ゲーム理論で考える社会・経済・環境
- ⑥地域における「ものづくり能力」の構築
- ⑦環境とレクリエーションの経済学 - 国立公園の持続可能な利用に向けて -
- ⑧企業の社会的責任（CSR）と環境経営 - 社会を変える会計と投資 -
- ⑨地域における地球温暖化対策
- ⑩農地保全をめぐる政策展開と課題 - 都市計画法改正と農地制度改正をめぐる -

■ セミナール方式

- ①循環共生型地域社会づくりの課題 - 地域産業政策の視点から -
 - ・戦後日本の地域産業政策
 - ・地域産業政策をめぐる基本課題と方向
 - ②山間地域農業・林業再生への政策的視点
 - ・群馬県における山間地域農業の歴史と新局面
 - ・地域林業振興の重要性と消費者視点
 - ③「循環協働社会」と地域福祉
 - ・二極二重経済時代の地域資源の最適配分
 - ・循環協働社会と地域福祉
 - ④農業・農村の活性化と循環・共生型システム
 - ・農山村の地域振興のもつ現代的意義
 - ・循環・共生型、地域資源活用型の地域振興とビジネスの展開
 - ⑤循環共生型国土構造・都市社会の構築
 - ・工業社会型循環システムとその問題点
 - ・知識・情報社会における国土構造・都市社会の展望
- 日 時 = 9月26日～12月7日、午後6時40分～午後8時10分、各10回 計20回
- 会 場 = 高崎経済大学1号館3階132番教室、附属図書館会議室
- 定 員 = 講義方式100名 セミナール方式25名
- 受講料 = 各3,000円（テキスト代1,000円含む）

図書館だより

平成17年度
図書受入状況調

〈平成17年3月31日現在〉

区分	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	K	その他	計	未入力分	総計	
	総記	宗教哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	技術工学	産業・スポーツ	芸術	言語	文学	郷土					
和書	購入	7,745	7,458	20,842	76,460	7,339	8,946	17,474	3,356	6,649	7,491	655	2,338	166,753		166,753
	寄贈	804	1,588	10,368	7,477	471	547	1,841	633	188	1,819	2,198	76	28,010		28,010
	管理換	397	504	2,656	6,030	2,508	851	1,230	296	422	313	77	213	15,497		15,497
	その他	6	2	5	27	3	2	8	1	9	0	3	1	67	41	108
	計	8,952	9,552	33,871	89,994	10,321	10,346	20,553	4,286	7,268	9,623	2,933	2,628	210,327	41	210,368
洋書	購入	3,907	1,024	1,503	19,298	922	1,883	2,802	206	2,114	1,160	0	113	34,932		34,932
	寄贈	233	275	175	440	88	50	75	26	66	303	3	3	1,737		1,737
	管理換	89	252	279	2,345	34	173	247	26	489	526	0	23	4,483		4,483
	その他	10	1	0	2	0	1	0	0	1	0	0	1	16	2,981	2,997
	計	4,239	1,552	1,957	22,085	1,044	2,107	3,124	258	2,670	1,989	3	140	41,168	2,981	44,149
総計	13,191	11,104	35,828	112,079	11,365	12,453	23,677	4,544	9,938	11,612	2,936	2,768	251,495	3,022	254,517	

雑誌 保有状況

区分	タイトル数	
和雑誌	購入	334
	寄贈	1,009
	管理換	0
	その他	7
	計	1,350
洋雑誌	購入	316
	寄贈	10
	管理換	0
	その他	3
	計	329
論集・紀要 (484 大学)	1,430	
合計	3,109	

新聞 保有状況

区分	タイトル数	
和新聞	購入	19
	寄贈	1
	管理換	
	その他	
	計	20
洋新聞	購入	3
	寄贈	
	管理換	
	その他	
	計	3
合計	23	

視聴覚資料 保有状況

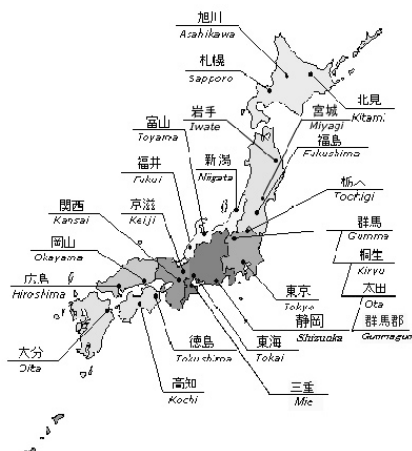
区分	ビデオテープ	カセットテープ	C D	マイクロフィッシュ	マイクロフィルム	CD-ROM	D V D	L D	その他	計
和	購入	2,159	229	202	6,660	1,903	424	195	29	11,812
	寄贈	23	0	2	0	0	0	1	0	31
	管理換	215	25	0	0	94	0	0	0	343
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,397	254	204	6,660	1,997	424	196	29	12,186
洋	購入	61	5	17	0	23	12	10	0	128
	寄贈	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	管理換	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	61	5	17	0	23	12	10	0	128
合計	2,458	259	221	6,660	2,020	436	206	29	25	12,314

高崎経済大学同窓会事務局から

現在、高崎経済大学同窓会は全国に25の支部を持ち、活発な活動を行っています。昨年度は下記13支部が支部総会を開催し、また3年に1度の同窓会総会（H16.11.20）も開催されました。

同窓生の皆様、ご自身が所属している支部総会開催の折には奮ってご参加ください。また、在校生の皆様も、卒業後は同窓会の正会員となりますので、同窓会の活動に積極的に参加していただきたいと思います。

同窓会支部一覧



平成16年度支部総会開催一覧

支部名	開催日時
桐生支部	5月22日(土)
新潟支部	6月12日(土)
富山支部	7月24日(土)
三重支部	8月21日(土)
札幌支部	10月1日(金)
東京支部	10月22日(金)
東海支部	11月2日(金)
大分支部	11月6日(土)
関西支部	11月13日(土)
栃木支部	11月13日(土)
京滋支部	12月4日(土)
静岡支部	12月25日(土)
太田支部	2月12日(土)

同窓会ホームページアドレス

URL <http://www.takakeidai-doso.gr.jp>

大学広報

大学説明会

■平成17年度大学説明会

① 県内校長及び進路指導教諭対象

日時:平成17年7月18日(月) 午後1時30分～3時

場所:事務棟3階 大会議室

出席者:校長・進路指導教諭 51人

② 進学志望生徒・保護者対象

日時:平成17年7月18日(月) 午前10時～12時00分

場所:本学5号館511番教室

出席者:生徒 511人

・茨城県6人 ・栃木県69人 ・群馬県371人 ・埼玉県16人

・新潟県5人 ・長野県16人 ・その他28人

保護者124人

・茨城県3人 ・栃木県11人 ・群馬県91人 ・埼玉県2人

・新潟県1人 ・長野県6人 ・その他10人

教員 16人

・茨城県4人 ・栃木県4人 ・群馬県5人 ・長野県3人

経済学会

■平成17年度第1回学術講演会

日時:平成17年6月21日(火) 午後2時30分～午後4時30分

場所:高崎経済大学 1号館111番教室

講師:加藤 尚武氏(京都大学名誉教授)

演題:環境倫理学と環境経済学－持続可能性をめぐる論争－

■論集『高崎経済大学論集』第48巻 第1号発行

■平成17年度第2回学術講演会

日時:平成17年6月30日(木) 午後2時30分～4時

場所:高崎経済大学 附属図書館ホール

講師:藤原 帰一氏(東京大学大学院法学政治学研究科教授)

演題:デモクラシーと平和

地域政策学会

■論集『地域政策研究』第8巻 第1号発行

■平成17年度第1回学術文化講演会

日時:平成17年6月9日(木) 午後4時～5時30分

場所:高崎経済大学 1号館142番教室

講師:宮塚 利雄氏(山梨学院大学経営情報学部教授)

演題:朝鮮の社会経済と経営研究

－人と物の流れからみた日本と北朝鮮－

産業研究所

■第63回市民開放講演会

日 時:平成17年7月13日(水) 午後2時～4時
場 所:高崎商工会議所 大ホール(6F)
講 師:荏原 昌氏(ジュトロ産業技術・農水産部産業交流課課長代理)
演 題:シリコンバレー
ービジネス・インキュベーターとしての魅力ー

地域政策研究センター

- 地域政策研究研修事業 ・自治体政策評価演習の開催
- 情報提供事業 ・ラジオ高崎「ラジオゼミナール」

附属情報センター

■教育用コンピュータ設置状況(平成17年6月1日現在)

1号館3階131教室および135教室	パソコン82台
3号館2階321教室	パソコン57台
3号館3階331教室および332教室	パソコン81台
6号館4階641教室および644教室	パソコン61台
6号館4階642教室および643教室	パソコン41台
図書館4階コンピュータ室	パソコン28台
大学院棟	パソコン40台
合 計	390台

■学生向け講習会の開催等

- ・高経ネット利用許可講習会の開催
内 容:高経ネットの利用方法やネットワーク利用のマナーについて学習する
回 数:新入生対象……計20回(17年度)
2年生以上……計2回(17年度)
受講者数:901人
- ・パソコン基本操作講習会の開催
内 容:Wordを使った文字入力・文書編集・ファイルの保存方法等の基本操作を学習する
回 数:計12回(17年度)
受講者数:178人
- ・WWW検索基本操作講習会の開催
内 容:Internet Explorerを使って、WWW検索の仕方および検索した結果の印刷方法、データの保存方法について学習する
回 数:計5回(17年度)
受講者数:104人
- ・「コンピュータ・ネットワーク利用の手引き」を改定し、新入生に配布(17年度)

たかけい学報アンケート

学報を今後よりよくしていくために下記アンケートにご協力下さい。

①学報 73 号で一番興味を持った企画はどれですか？

- | | | |
|---------------------------------|---|--|
| <input type="checkbox"/> 巻 頭 言 | <input type="checkbox"/> 高崎経済大学に入学して | <input type="checkbox"/> 新入生歓迎会を終えて |
| <input type="checkbox"/> 新任教員紹介 | <input type="checkbox"/> SIFE JAPAN 国内大会で優勝して | <input type="checkbox"/> 第 32 回鶴鷹祭結果報告 |
| <input type="checkbox"/> 卒業生訪問 | <input type="checkbox"/> クラブ紹介 | <input type="checkbox"/> ふるさとを語る |
| <input type="checkbox"/> 姉妹校留学 | <input type="checkbox"/> 高崎今昔物語 | <input type="checkbox"/> Buon Appetito |

②学報を読む頻度は？

- 毎号読む たまに読む ほとんど読まない

③学報に掲載して欲しい企画はありますか？

④学報についてどういった印象をお持ちですか？

⑤学報に対しての希望・要望等ございますか？

ご協力有難うございました。学生課窓口に設置されておりますポストへ投函して下さい。またメールでの要望受付も行っております。件名に「学報への要望」と入れて送信してください。

アドレスは kd-gakusei@city.takasaki.gunma.jp までお願いします。

裏表紙の写真は、かつて武道場として利用されていた武徳殿。昭和55年3月、総合体育館が完成するまで、ここで数多くの武道系クラブの先輩方が汗を流し青春時代を過ごした。現在、武徳殿の雄姿は古びた写真の中でしか見ることは出来ないが、先輩方の残した熱き精神は、今の武道系クラブの学生達に確実に受け継がれている。



武徳殿内部の写真。稽古の熱気が時代を超えても伝わってくるようである。

武徳殿を背景に、写真を撮る空手道部の面々



たかけい学報
発行
企画・編集

第73号
平成17年8月25日
高崎経済大学広報委員会
〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300
電話 (027) 343-5417(代) FAX (027) 343-4830
IP電話 050-5501-5777
URL : <http://www.tcue.ac.jp>



(武徳殿)